

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



元気におどる馬山保育園児



馬山保育園

あなたと議会を結ぶ

確かな情報と信頼

主な
内容

年頭のあいさつ	2
臨時会・12月定例会	3
一般質問	4
委員会報告	6～9
町民の声	10



謹賀新年



新年明けましておめでとうございます。
輝かしい平成二十七年の新春を皆様とともに迎えることができましたことはなにより
の慶びであります。

本町の人口減少になかなか歯止めがかからない状況ですが、昨年は「全国ネギサミット」を開催し地域の振興、活性化を図ったところであります。また「荒船風穴」を含む富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産に登録され、さらに期待が膨らむところでもあります。

特に、最近若者の様々なイベント企画があり、活力あるまちづくりへの取り組みへと繋げていけるようにし、安心して、住みやすい町へとアピールをし、少しでも定住化が促進されることを望みます。

新しい年がこうしたチャンスを活かすために町民皆様のご協力をいただき、来訪者への「おもてなし」を盛り上げてき、町民・行政・議会と団結していくために大変微力ではあります。が努力して参りたいと思っております。

皆様方のご理解とご協力を心より宜しくお願い申し上げます。

議長 佐藤公夫



総務常任委員会

千野榮治委員 岡田武二委員 高瀬政信委員長 佐藤勇二副委員長 堀口博志委員 島崎紘一委員



社会経済常任委員会

佐藤公夫委員 岩崎正春委員 原 秀男委員長 矢島榮一副委員長 木暮弘元委員 永井正之委員

〔公職選挙法の定めるところにより、議員の年賀状の差し出しは、禁止されております。この紙面をもちまして、ごあいさつに代えさせていただきます。〕

一般会計補正予算など可決

■ 臨時会 11月25日開催

すべて原案のとおり可決されました。

審議結果一覧

下仁田町議会の議員の諸給与支給条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町長及び副町長の諸給与支給条例の一部を改正する条例	賛成多数
下仁田町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全会一致

■ 12月定例会

第4回定例会は、12月5日から12日までの8日間の会期で開かれました。本定例会は、報告1件、平成26年度一般会計補正予算を含む、議案14件（内予算関連3件、追加案件2件）上程審議され、すべて原案どおり可決されました。

◆一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ5,688万円を増額し、予算の総額を54億8,134万円としました。

審議結果一覧

下仁田町役場課設置条例の全部を改正する条例	全会一致
下仁田町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町国民健康保険条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町水道事業給水条例の一部を改正する条例	全会一致
道の駅しもにた基金条例	賛成多数
下仁田町屋外広告物条例	全会一致
下仁田町定住促進住宅用地の貸付及び譲渡に関する条例	全会一致
平成26年度下仁田町役場庁舎耐震補強工事請負契約の変更について	全会一致
平成26年度下仁田町一般会計補正予算(第4号)	賛成多数
平成26年度下仁田町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致
平成26年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号)	全会一致
平成26年度町道0109号(下仁田～栗山)線道路改良工事請負契約について	全会一致
人口減少問題に対する提言書	全会一致

町政を問う



原 秀男 議員

町の基幹産業である

林業の再生について

(一) 杉の立木蓄積量について

議員 下仁田町の林業についてお尋ねしますが、その前に現在の状況をお話ししたいと思います。この数十年間、木材自由化の波と、建築様式の大変な変化により、大変な凋落傾向にあり、治山対策もままならず、大災害も起こりかねません。これだけの森林資源をかかえながら、活用できない

これは誠に残念です。まずは、町全体の杉立木蓄積量について、お伺いします。
産業振興課長 およそ328万立方mです。
議員 県内市町村での順位はいかがですか。
産業振興課長 高崎市が一位で、336万立方mで、下仁田は二位です。
議員 高崎市は旧榛名町

(二) 町内の杉伐採量について

議員 それだけあって、年間の伐採量はどのくらいでしょうか。
産業振興課長 ほとんど下仁田町森林組合が伐採しますが、約1万4千立方mだそうです。
議員 そうしますと、伐採植林に何百年かかるかわかりませんか。そのような状況と、今の価格では、山林所有者にお金が還りません。

(三) 将来の木材需要の掘り起しについて

議員 そこでご提案です。最近新しい木造建築工法として、CLT工法というものが日本に入ってきており、林と旧倉瀬村を含んでの量です。単体で考えますと下仁田の量は、圧倒的です。
町長はこの現状を視て、どうお感じでしょうか。
町長 下仁田も以前は、林業の町として大変栄え、大きな産業の役割を果たして来ましたが、価格の低迷は非常に残念です。この現状を打破していくには、国策としての林業政策に大きな期待を寄せています。
議員 そこでご提案です。最近新しい木造建築工法として、CLT工法というものが日本に入ってきており、林

ンバーの略語であり、直交集成板の意味であります。

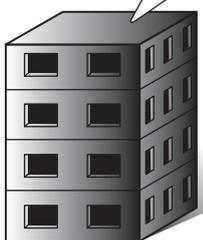
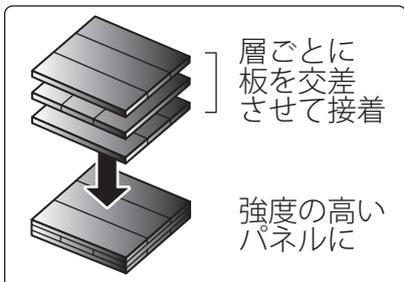
従来の集成材は繊維方向に平行に、貼りあわせていますが、これを繊維方向に直交して貼りあわせるといってもいいです。これだけでものすごい強度がでるということです。北米やヨーロッパではこれを構造材とした木造10階建のマンションがほとんど建設されているそうです。

よって木材の大量消費がみこまれます。このような工場誘致、あ

るいは町で取り組んでいかれたら、どうでしょうか。

町長 このCLT事業につきましては、この数年で非常に希望のものと注目をされている。この工法により、コンクリートにも優り、火災にも強いということ、国を挙げて、政策の中に取り入れようというところでございます。町の大量な杉を考えた場合、なんとかこの近隣地域でやっていく方向を、研究していく必要があると考えています。

CLT工法のイメージ



**最終日議会では、町長に対して
人口減少問題に対する提言書を
左記のとおり決議しました。**

町の遊休地活用による人口減対策への提言

下仁田町議会では、人口減少が続く現状を重く受け止め、平成26年9月議会において「人口減少非常事態宣言」を採択し、「人口減少対策特別委員会」を組織しました。

宣言の意義に鑑みて、その危機感と緊急性を認識し、定住に向け、宅地化、企業誘致、空き家対策について直ちに人口減少対策を提言する。

直ちに実施すべき事項

1. 東団地の速やかな供給策を講ずること。
2. 旧馬山小学校跡地の埋蔵文化財調査を実施すること。
3. 旧西中学校跡地の埋蔵文化財調査を実施すること。
4. 空き家対策の具体的施策を早急に講ずること。

平成26年12月12日



予算決算特別委員会報告

平成26年度

下仁田町一般会計補正予算について

【歳入】

問 地方債補正（町の借り入れ）について全国防災・緊急防災、減災事業債を当初予算に予定した経緯は？

答 予算編成前に、耐震工事についての起債を県と協議したところ、その時点では全国防災事業債が対象となるでしょうとのことであり、その裏財源についても緊急防災、減災事業債が充てられるとのことでしたが、その後会計検査の結果で、この起債は被災地に限定。

問 財政調整基金の繰入について町長の考え方を聞きたい。

答 耐震工事は、災害時

の本部機能を有し拠点となる役場の工事であり、重要であると認識している。財政調整基金は、なんでも予算が不足するから繰り入れるとは考えていない。重要事業に不足が生じれば使用することになるが、議員とも相談していくことにする。

問 起債変更後の資金計画は。

答 耐震補強工事の欄で、全国防災事業債1億460万円を当初で見込んだところで、公共事業等債で9,420万円を補正予定で、内本来分の充当率50%で財対分40%です。国庫補助金は補正前と同じで、基金繰

入を1,040万円です。庁舎改修工事の欄で、緊急防災・減災事業債の1億9,500万円を減額して、地域活性化事業債を2,260万円と一般事業債を4,600万円に変更して、基金からの繰入で1億2,640万円としたい。

公共等事業債の本来分は、交付税措置はありません。財対分の交付税措置は50%です。また、地域活性化事業債は30%で、一般事業債の交付税措置はありません。

公共等事業債は、償還期間20年で年利0.5%、地域活性化事業債と一般事業債は

償還期間15年で年利0.5%で計算したところ、約1億4,000万円ほどの見込みです。

【歳出】

問 黒沢氏から寄付してもらった建物の改修と聞いたが？

答 寄付していただいた建物は、道路に面した軒先の補修です。

問 ぐんま緑の県民基金事業は。

答 本年度から実施することとなり、今回市町村提案型事業を県に事業申請をした。事業説明の前に報告したい。下仁田町、南牧村、神流町等条件の悪い町村には整備費をヘクター



整備が予定されている山林

ルあたりの単価50万円を150万円に増額、またクレーン車や高所作業車等を使用する特殊作業については経費の1/2（1市町村上限2,100万円）が追加された。今回の申請は地権者の了解を得ている地区を中心に申

問 優先順位はどのように決めたのか。

答 地権者の同意が確実なところから優先した。

請をし、4地区6か所の森林整備が承認された。

制度としては初年度の伐採・整備は町が業

総務委員会視察報告

1 視察実施日 平成26年10月22日(水)～23日(木)

2 視察場所 静岡県富士宮市

世界文化遺産「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」

富士山域(大宮・村山口登山道)、富士山本宮浅間大社、山宮浅間神社、村山浅間神社、人穴富士講遺跡、白糸ノ滝の6箇所が世界文化遺産に登録されました。富士宮市は、構成遺産への来訪者対応として、それぞれに駐車場と統一したデザイントイレを整備しています。現在は、入場料等の徴収は実施していませんが、人穴富士講遺跡では、入場制限をして料金を払った人だけにヘルメットを貸出して特別な区域(溶岩洞窟内)に入っ

て見学できるような方式を検討しているとのことでした。また、富士山の景観を守るため、指定区域に基づき建築物の高さ制限を設定しており、世界遺産の保存活用のための基金の創設を検討しているとのことでした。

市内中心部にある富士山本宮浅間大社近くに、新たに駐車場用地を市が取得し、現在の市の無料駐車場に静岡県が富士山世界遺産センター(仮称)の建設を計画しているとのことでした。また、翌日は世界遺産の構成資産である小山町の須走浅間神社、富士吉田市の御師住宅(旧外川家)、富士河口湖町にある山梨県立富士ビジュアルセンターを視察しました。



富士宮市

者に委託をする。次年度以降の管理については地元と地権者で行なうこととなる。管理について5年間は補助が出る。屋敷から牧場は申請した。市野萱から風穴の間は地元区長にお願いはしてある。行政が中に入って対応をしていきたい。

問 地元が事業要望をするにあたり、5年間の管理というのがネックになる。

答 管理については整備をした箇所すべてを毎年やるのではなく、今年はこの部分というように小分けにしてもいいということなので、なるべく苦勞をしない方向で考えていきたい。

問 町として管理についてはどれくらいバックアップする考えがあるのか。代行業務も検討して欲しい。

答 町と地元と地権者の3者で協定を結ぶこと

になり、地元と地権者で管理をすることに なっている。丸投げでなければ代行は可能である。

今年度は荒船風穴周 辺、大桑原区3か所、宮室区、馬山農免Ⅲ期の6か所。

問 孤立集落解消には区を越えて申請しなければならぬが、地元だけでは限界があるの で、町がもつと積極的 に働きかけをして欲しい。

答 孤立集落対策については優先順位をつけて対応していきたい。

委員 臨時福祉・子育て世帯給付金の申請率は？

健康課補佐 臨時福祉給付金が85% 12月1日現在1,849人に支給決定しております。

子育て世帯臨時特例給付金は114%12月1日現在294件499人に支給決定しております。

また、富士山の景観を

少子高齢化特別委員会視察

- 1 視察実施日 平成26年10月12日(水)～13日(木)一泊二日
- 2 視察場所 山梨県南都留郡道志村、北杜市

道志村

「山あい集落における高齢者の見守り・買い物などの生活支援」の事例を視察。
①救急医療情報キットの整備、②「世代を超えて安心して暮らせるむらづくり」テレビ電話でのオペレーターによる高齢者支援では、平成20年度に総務省の情報通信基盤整備事業や臨時交付金などの各種補助制度を活用し、村内全域に光通信網を整備、全戸にこれを引き込み防災無線の難視聴の解消。

北杜市

「総合的な介護サービスの提供」「元気な超高齢先進地域の取り組み」
地域支え合い体制づくり事業による基盤整備として市内8ヶ所にコミュニティカフェ開設による高齢者の居場所づくり、平成24年度より介護保険制度改正を睨んだ介護予防・日常生活支援事業の2本柱の事業による成果との話でした。
介護保険給外の民間サービスやボランティアなどの地域資源を活用し、事業の立ち上げ時に財政的支援を行い、軌道に乗れば行政の関与としては情報交換のみを基本とし、主体となるボランティア団体や利用者の意向を重視した運営を行っている。



北杜市コミュニティカフェ

人口減少特別委員会講演会開催

平成26年12月20日

講師 吉弘 拓生 氏

福岡県うきは市職員（市長公室）
総務省地域力創造アドバイザー



人口減少問題と地方創生 ～問われる地方のチカラ～

地方のやる気を示すことが明確に打ち出された。
地方創生総合戦略地方版策定 国・県と同時に町の総合戦略を作成するよう講演されました。

甘楽・多野 5町村研修会

10月17日下仁田町で5町村の議会議員の研修・交流会を開催しました。
地域に根差した観光

講師

下仁田町観光協会
アドバイザー

松本 秀信氏

群馬県町村議会 議長会研修会

○10月29日

群馬県町村議長会の研修が吉岡町文化センターで開催されました。

「道州制の動向と問題点」と題して講演をされました。

神奈川大学法学部教授

幸田 雅治氏

道州制がもたらす問題点を、基礎自治体（市町村）からの目線で、また平成の合併の弊害についても講演されました。

「日本の政治の行方」

自治通信社 田崎史郎氏



作業所の演奏風景

議場に響く 温かな音色

下仁田町福祉作業所の通所者とスタッフ11名でつくるバンドが、内装がきれいになったばかりの

甘楽西部環境衛生施設組合甘楽西部環境衛生施設組合議会定例会が12月18日に開催されました。26年度補正予算（第2号）全会一致で可決

議場で演奏しました。「水戸黄門」など5曲を、ドラムやギターなどで奏で、議場に温かい音色と歌声を響かせた。楽器の練習を訓練に取り入れており、社会と交流する機会を持つと、議会と協力し毎年議場で演奏を行っております。



町民の声

下仁田ネギの会の紹介

下仁田ネギの会 会長 田中 芳重



にぎわうネギサミット

上毛かるたでネギとコンニャク下仁田名産と全国的に紹介され、下仁田の知名度アップに貢献されていると思います。徳川時代より受け継がれ栽培されているわけでありますが、昭和30年代より馬山農研下仁田葱生産販売部が設立され、贈答用品として全国発送を展開して、PR活動にも努力を続けてまいりました。トロリとした食感が抜群の甘さで需要も急速に上がり、栽培も下仁田以外でも多く栽培されるようになりました。下仁田ネギのうまさを引き出すの

は栽培方法が重要な要素となります。それは2度の植え替え、これは昔から先人たちが守り続けてきた下仁田ネギ本来の方法です。この2度目の夏の植え替えにより最高のうまみが生まれます。昭和の後期より県の機関の指導の下、省力栽培の名のもとに夏の植え替えをなくし、一度の定植で栽培する方法が広く普及するようになりました。平成に入り多くの消費者の皆様から下仁田ネギの味が落ちたという声が聞かれるようになりました。本場馬山地区の生産者の間からこのままでは下仁田ネギが売れなくなってしまう、何とか今のムードを打破してこうと多くの生産者と話し合いを行い、当馬山地区だけでも良いから原点に戻り昔からの栽培で本物のねぎを作っていこうと下仁田ネギの会を発足い

たしました。下仁田町でもご協力をお願いしました町の認定をいただき下仁田生まれ下仁田育ち生産者の住所氏名電話番号を明記し意匠登録を取り特別の緑の箱を作り会の規約として2度の植え替え、品種統一、その他5か条の申し合わせ事項を定め違反した場合には脱会とする、厳しい規約のもと下仁田ネギのブランド化を目指し努力をしております。

編集室から

一昨年の9月定例会において委員会役員構成が変わり、今回が6度目の広報編集となります。

今回は平成26年第4回定例会の主な内容について編集しました。内容については、分かりやすい編集を心がけますが、ご意見等お寄せ下さい。

広報発行特別委員会
委員長 永井正之
副委員長 千野榮治
委員 原 秀男
岩崎正春
高瀬政信
佐藤勇二

議会だより・会議録を
ホームページでご覧下さい。
<http://www.town.shimonita.lg.jp/>
問い合わせ先：電話82-2111
(内線610番)

